

■令和7年度 中学生学力アップ教室事業（小鹿野未来塾） 目標・実績

背景・現状・課題	これまでの取組状況	課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現状の 数値	本年度の 目標値	本年度の 実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
<p>本町は山間部に位置していることもあり、学習塾に通う生徒の割合が少なく、また休日の1日当たりの勉強時間が県平均と比べて少ないこともあり学習時間に課題がある。 学習時間の定着に向けて、学校以外で学習に取り組める機会の提供と運営の充実が必要である。</p>	<p>小鹿野町における学力アップ教室事業である「中学生未来塾」の実施。</p>	<p>地域の方や教員OBを講師とし、生徒の習熟度に合わせた少人数での細やかな学習指導を国語・数学・英語の3教科において実施する。 このため各学年の講座において、1クラスを複数講師で指導する体制を整える。 また、地元小鹿野高校との連携を深め、高校数学科教師による「数学特別授業」を実施する。</p>	<p>学校以外で日常的に学習を行う生徒の割合が増える。</p>	<p>週に3日以上、学校以外で勉強する生徒の割合 (小鹿野町教育委員会アンケート調査)</p>	43	50	41	<p>・中学生未来塾事業自体は、参加生徒の9割が「参加してよかった」「楽しかった」「学習内容が分りやすかった」と答えしており、保護者からも「来年度も参加させたい」と評価と期待が高いため、今後も同様の評価等を得られるような努力と工夫をしていきたい。</p> <p>・参加生徒の満足度に対し、本事業の目的である学習習慣の定着化には期待する成果は得られなかった。講座を受けることで満足するのではなく、自ら学習に取り組むよう学ぶ楽しさを実感できるような指導を学校と連携し工夫して行ってきたい。</p>